

【専門教育科目/看護の統合と発展】

科目名		ナンバリング	区分（必修・選択）	単位数	履修年次	開講学期等
総合看護演習		NSP43_003	必修	1	4	後期
担当教員		研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
榎 温 他		408	satoshi.kashimoto		授業終了後に質問等受付	
授業の目的・概要	4年次までに講義・演習・実習で学んだ知識、技術を振り返る。また、それらを通して臨床推論力も養う。これらの総まとめを行うことで、自己の課題を明確にし、その課題を克服することで看護職者として必要な知識・技術・思考過程を身に付けることを目的とする。これまでの講義・演習・実習において獲得した知識の達成状況を確認するため、毎回小テストを実施する。					
授業形式・方法	☒ 対面授業 ☒ 講義 ☒ 演習 ☒ PBL ☒ 反転授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☐ 遠隔授業(双方向型) ☐ 実習 ☐ 実技 ☐ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 遠隔授業(自主学習) ☐ その他（					

【専門教育科目/看護の統合と発展】

15	看護の統合と実践 ※成人看護学領域担当：12/26（火）2 限	講義・演習 反転授業・PBL	pp. 72-78, 190-194 の予習 講義内容の復習をする。				1
試	筆記試験：1/16（火） 達成度評価・評価のポイントを参照						
達成度評価							
総合評価割合（％）		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		70	0	0	0	30	100
総合 力 指 標	知識・技術力	40	0	0	0	0	40
	思考・推論・創造する力	20	0	0	0	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	30	0
	問題を発見・解決する力	10	0	0	0	0	10
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	試験は、国家試験形式とする。				試験終了後、解答の提示および必要時解説を行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
その他	①	✓	講義・演習への積極的な取り組み・態度を評価する。				講義毎に行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
備 考							
他 担 当 教 員		◎山崎さやか、◎吉岡睦世、小林美雪、坂本文子、森川三郎、山崎洋子、窪川理英、飯島玲奈、佐野宏一朗、東福寺愛実、堀口まり子、渡邊美樹、伊丹幸子、大泉葉子、馬淵路子、山本富士子 （◎：科目副責任者として連絡調整等行う。）					
教 員 の 実 務 経 験		科目を担当する教員は臨床および教育に関する豊富な経験を有している。					
実践的授業の内容		看護職者としての経験を活かし具体的な事例や場面を交えながら、学生が想起できるよう国家試験問題を用いた授業を行う。					
そ の 他		授業中の私語は禁止します。また、指示がある場合を除いた携帯電話、スマートフォン等電子機器類の使用は禁止します。これら受講態度に問題があり、注意をしても改善が見られない場合は、退室してもらいます。					